



コント

『お嬢さんを  
僕にください』

IKKAN

## 登場人物

---

父（娘の居るお父さん）

男①（プロポーズしに来る人）

男②（それでも無い人）

女（娘のように見えて、娘では無かった人）

よしこ（やばい娘）

## 本文

---

(父の前に、男①と女。女は男①の腕につかまっている。カップルに見える。)

男①「お父さん、お嬢さんを僕に下さい！」

父「(ふーむ)……そんな事言われたってねえ。どうしたもんかねえ。」

男①「僕は、お嬢さんを一生大切にします。絶対に幸せにしてみせます。だから、お嬢さんを僕に下さい！」

父「(うーん)……でもねえ……。」

男②「(いい加減認めてあげなよ的に)……おじさん。そろそろさ……お嬢さんを僕にも下さい。」

父「なんなんだよ！！僕にもってどういう事なんだよ！」

男②「ね。そう堅いこと言わずに。」

父「誰なんだよお前は！なんか、身内感出しやがって！あのね、娘をあげるわけにはいかないよ。さあ、とっとと帰ってくれ。」

男①「お父さん……お嬢さんと会う前の僕は酷いものでした。」

父「そうなの？」

男①「幼少時より、悪い仲間とつるんでいた僕は、喧嘩三昧。……女には狂い、窃盗を繰り返す毎日。」

父「最低だね、君。」

男①「しかし、お嬢さんと出会ってからの僕は、全てが変わりました。」

父「(ああ) そうなの。」

男①「会社も首になりました。」

父「(笑) ダメじゃない、それ。」

男①「無職になった僕は、ギャンブルに明け暮れ、どんどん借金はかさんでいきました。それからは窃盗を繰り返す毎日。」

父「何にも変わってないじゃないか！絶対にあげられないよ、君には。」

男①「ですから、お嬢さんを僕に下さい。」

父「ダメダメ！その情報仕入れてから、お嬢さんをあげる人いないよ。」

男②「(はっ！) だったら……僕にお嬢さんを下さい。」

父「駄目だよ！ダメダメ！『だったら』とかで、娘をやるわけにはいかんよ！」

男①「お嬢さんは素敵です！僕は、お嬢さんの事を考えると、夜も眠れません！」

父「(うーむ……)」

男①「一発抜いてからじゃ無いと眠れません！」

父「いらないよ、その情報！！」

男①「いつもオカズにさせていただいております！」

父「君さあ、どういう気持ちで、その発言が出来るの？」

男①「お嬢さんは僕にとって、無くてはならない、性の対象です！」

父「父親に言うべき発言じゃ無いよ！」

男②「僕は、まだお嬢さんの事を何も知りません。」

父「は？」

男②「だから、お嬢さんを紹介してください！」

父「帰ってくれ！お前、ついでに來ただけの人でしょ？」

男①「お父さん、ここまでしても駄目でしょうか！」

父「ここまでなにしたっけ？ええ？君に娘をやるメリットとか全然無いじゃん！」

男①「お父さん！お嬢さんは決してモノなんかじゃありません！！」

父「いや君、何一ついいところが無かったからね。何か一つぐらい、いいところが無いとね、検討の余地が無いよ。」

男①「お父さん！僕には、とてもいいところがあります！」

父「それだよ、それを言ってほしいんだよ。具体例を下さいよ、具体例を。」

男①「確かに僕には、お金はありません。才能もありません。しかし、お嬢様に対する愛情もありません！」

父「帰ってくれない！？グッバイだよ！グッバイ！愛情もないやつに、娘はやれんよ！」

男②「お父さんを僕に下さい！」

父「あげないよ！何の話しだよ！俺の何が欲しいっていうのよ！？」

男②「僕は、お父さんを初めて見た時から、」

父「今日ってことね。」

男②「とっても人間味あふれる……人間の形をした……人間のための政治。」

父「だから何の話なんだよ？！」

男①「ですから、お嬢さんを僕に下さい！」

父「ですからじゃないよ！あげないよ！」

男②「僕にも下さい！」

父「駄目だよ！絶対あげないよ！」

女「私にも下さい！」

父「さあお前だよ！！お前は誰なんだよ！！ずーっと気になっていたよ！お前は誰なんだよ！！何で腕組んでる訳？二人はなんなの？二人がカップルなんじゃないの？」

女「そういう事であれば、お嬢さんを私に下さい！」

父「会話をしてくれない？？！！だから、どういう事なのよ！！？君は一体どういう方針でウチの娘が欲しいのよ！？恋愛感情とか、そういうのがある訳！？」

女「お嬢さんは、恋愛の対象なんかではありません！」

父「じゃあ、何なのよ！」

女「性の対象です！」

父「こんなやつばっかじゃん！！帰ってくれよ！こっちも忙しいんだよ！！！」

男①「僕も忙しいです！」

男②「僕も忙しいです！」

女「私も忙しいです！！」

父「じゃあ、帰ろうよ！！みんな一緒に！！！」

(よしこ、やってくる。)

よしこ「お父さん、何を騒いでいるの？大麻ちょうだいよお。」

父「よしこ！ちょっと待ちなさい。すぐに行くから！」

3人「お嬢さん！お会いしたかったです！」

よしこ「早くしてよ。さっき人を刺して来ちゃったんだけど、この後どうすればいいの？」

父「今、この人たち帰すから、ちょっと待ってなさい！」

3人「お嬢さん！お会いしたかったです！」

よしこ「オスプレイ全部ぶっこわして来るから、お小遣いちょうだいよお！」

父「おこづかい、あげるから、ちょっと待ってなさい！」

3人「お嬢さん！結婚してください！」

父「よーし誰か！私を助けてくれええええ！！！」

4人「はい！！！！（手を上げる）」

（終わり）